



大英国内閣の異動

帝国主義者擡頭して極左クリフゾス左遷

倫敦 廿三日ロンドン特置員ボリリン通信は英国内閣異動を報道した。

其最顯著なる變動は、スタフォードクリフゾス卿が樞密院會員、内務大臣官院の總理、其他、榮職より俄に航空機製造局長に遷された事であり、更に内相ボリリンが抜擢されて其後を継いだことである。

クリフゾスは今夏紅度出張の結果如何によりて、キヤール首相の椅子に坐すべき可能性を見せた程一般人望を有せしものなるが、終に戦時内閣の陣頭より姿を消すに至った。

同時に、イーデン外相が下院々内總理の地位に代り、スタフォードが兼任せし、内務大臣官には、植民大臣クラクソン子爵計が踏襲した。而して、労働大臣スタンレイ大佐が植民大臣の椅子に就いた。

前航空機製造局長官、レウエーリンは、革府駐在軍需品分配局長に任せられた。内閣異動の直因は、クリフゾスが先年

ロースバーク 日本人 收容所 知事 十一月廿四日 火曜日 才七九号

労働党より彈劾され、以来、極左化したこと、モリソンが却つて最近の演説に因り、帝国主義者なることを表明せしむるに、これは、クリフゾス党は一般にキヤールが新嘉坡を失つて以来の内閣攻撃の楯となつてクリフゾスを利用したと批難して居る。

地球上の戦況一般

アフリカ戦区——米軍は西アフリカの平定を宣したが、それはダカール港知事シヤツル其他軍部が聯合軍に自発的に参加し申出した事であり、事實は米軍のダカール無血占領である。

又、第八軍がベニガリチ南部に於てロル軍と前線衝突し、チエニリアを奪取、戦未を開始せず。アフリカ戦線米軍戦死者は一千九百十名と報せられる。

赤露戦区——独逸軍北露戦線に大敗。南太平洋戦区——ワタカナル島及ニエーギニアに於て、米國軍其兵を増加し、二島四戦区に於て、日本軍相当苦戦中と。

十一月廿四日の世界

グルーの恐日巡講——塩市に於て前野日大使グルーは恐日論を高調した。

軍政より民政——人カ關係の監督官は武官より文官に選ばれ、マクナット意見書、人頭税案、握り潰し、フールバースター上院議員の十日間のカ戦、夫、功し人頭税案は

遂に討議せし採決せず永久無期延期。感謝祭と大統領——大統領は廿六日感謝祭には、詩篇三十三章を以て讚美感謝することを布告したが、改め終自せしを聲明。東京放送——場所は指定せぬがソモモン方面に決戦始るとして兩艦隊が衝突し、激戦。

一平和説で株式下落

紐六月廿三日ロンドン特置員ボリリン報道に依れば、伊太利が辛先して平和提唱したと、ウォール街の或る株主は、ボリリン以上急ぎ落した。

既報、ホストニ移住の日本人八千餘人、ストライキは流血を目撃して解決したと、ウエード長官が発表した新聞紙の所報では、住民中に樞軸派の一團あり、巧に事を構へんとしたり、を、動機は兩三名の日本人を治安關係に逮捕せしに在り。

米國に中心説の日本人 アイカンソー、廿三日、NSは同州マギヒに收容中の日本人五名は米國軍隊に應召され、登録を了つた。

團體大會の結果、過日の聯合團體大會は番番成績、如左

一等	井上	二級	土本
二等	秋元	三級	浅間
三等	車轉	四級	花本
		五級	七
		六級	八

四等	岡田	一級	宮政
五等	有馬	二級	立原
六等	鳥沢	三級	小松原
七等	宮川	四級	藤井
		五級	伊藤
		六級	馬場
		七級	金城
		八級	十
		九級	十一

尚審判の結果左の昇格進級者あり

A組 秋元五級は準四級へ、車轉五級は準四級へ、B組 土本十級九級へ、浅間七級六級へ、花本八級七級へ、宮政七級六級へ、藤井十級九級へ(以上進級)

新ゲート開かれん、オニオ三西大隊前、フィンズ中央にゲート開かるといふことにより、本日工事中止あり。

安井 穂氏所四訓、ポートランド十八日(國際通信)米國生小の安井(26)は、フドリウ、出身辯護士、不陸軍者の外人カ、フイ、合意違反、六條に同令に定めたる最重罰則により、一ヶ年間、テラロート、キヤンプ入りと、併し五千弗の罰金を申付られたり、尚同人の辯護士、ジョン、カ、リヤは右控訴を續けようとした。

合衆國物事、アルカト、フイ、右カ、フイ、令は、米國人に對しては無効なりと述べ、而して後に、被害者中の市民権は剥夺すべし旨を宣告し、被害は外國人であり、ハ、カン、テ、ト、ト、あるからとして上記の宣告を下したと十九日、北行、米、港、工、キ、サ、ミ、ナ、ハ、報、じ、て、あ、る、と、い、ふ、

北行、米、港、工、キ、サ、ミ、ナ、ハ、報、じ、て、あ、る、と、い、ふ、

